

会議名	令和2年度第2回 木更津市駐屯地に関する協議会漁業協同組合部会		
開催日	令和2年8月23日(日)	場所	木更津市民会館中ホール
時間	午後3時30分～午後5時00分まで		
出席委員	山口委員(木更津市企画部長・部会長)、鳩飼委員(牛込漁業協同組合長)、高橋委員(金田漁業協同組合長)、飯塚委員(久津間漁業協同組合長)、江野澤委員(江川漁業協同組合長)、山口委員(木更津市中里漁業協同組合長)、鈴木委員(木更津漁業協同組合専務理事)		
議題	(1) 陸上自衛隊V-22オスプレイの当面の運用について (2) 基地周辺地区からの要望書に対する市の対応状況について		
その他	なし		
配付資料	01 会議次第 02 【説明資料1】 陸上自衛隊V-22オスプレイの当面の運用について 03 【説明資料2】 『陸上自衛隊V-22オスプレイの当面の運用について』の説明に係る確認事項等について		
概要	<p>議題(1) 陸上自衛隊V-22オスプレイの当面の運用について</p> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 深和北関東防衛局企画部長説明 説明資料1に基づいて説明</li> <li>● 曾田木更津市企画課長説明 説明資料2に基づいて説明</li> </ul> <p>【主な質疑応答・意見等】</p> <p>山口委員) 陸自オスプレイが17機揃った時点で、離着陸訓練が1日15回増えるということではないか。</p> <p>深和部長) 17機揃ったあとでも、メンテナンス等を行う機体もあるので17機全てが同時に毎日運用されるわけではないという意味での15回ということをご理解いただきたい。</p> <p>山口部会長) 1日平均15回のカウントは、以前、例えば編隊飛行で同時に3機着陸した場合には3回とカウントし、離陸についても、1機であれば1回、3機であれば3回というカウントで合わせて平均15回という認識でいいか。</p> <p>深和部長) そのとおりである。あくまでも平均のため、15回を超える日もあれば下回る日もある。平均してみると15回という計算である。</p> <p>江野澤委員) 江川漁業協同組合の船溜まりは駐屯地の北側の西にあるが、ヘリのホバリング訓練を船溜まりの近くでやっている。松葉や枯草が飛んできたりうるさい。 訓練は住宅地に近いところで行わないということなので、駐屯地の真ん中の海側でやっていただきたい。</p> <p>深和部長) 騒音をできる限り軽減するために、騒音の発生源である航空機と住宅地との距離を置けば騒音は減るが、北西部には江川漁業協同組合があることから、住宅地から離せば全てが良いというわけではなく、ご提案いただいたような場所での訓練も考えていかなければならないが、様々な気象状況等も影響し、どうしてもその場所で訓練を行わなければならないという日もあることをご理解いただきたい。そのような意見があるということは、本日は、駐屯地の者も一緒に話を聞いているので、配慮した運用に努めていく。</p> <p>江野澤委員) 6月の協議会において、(定期機体整備について) 今後、米海軍CMV-22オスプレイの整備も想定されると説明があった。この契約期間が最大9.5年となっている。陸自オスプレイの5年間の暫定配備が終わっ</p>		

	<p>でも、CMV-22オスプレイは木更津市に残るのか。</p> <p>深和部長) CMV-22オスプレイについては、可能性があるということでご説明させていただいたが、米海軍として導入し、日本で運用すると確定したものではないということをご理解いただきたい。その上で、5年以内を目標とした陸自オスプレイの暫定配備と、日米オスプレイの共通整備基盤は別のものである。暫定配備期間終了後も9.5年の契約が続くということで、それ以降も定期機体整備の場所としては木更津駐屯地を考えていきたいところ、契約期間を最大9.5年とご説明させていただいた。</p> <p>江野澤委員) オスプレイはずっといなくなるという認識で良いか。</p> <p>深和部長) 定期機体整備は、日米共通基盤として木更津駐屯地を使用したいということをご説明させていただいており、陸自オスプレイの暫定配備終了後も木更津駐屯地を使用させていただきたい。</p> <p>江野澤委員) それはそれでまた説明があるのか。</p> <p>深和部長) 定期機体整備については、現在SUBARUと契約しており、今後の契約の状況や格納庫も整備したいという話もしているが、具体的な内容が決まり次第、改めてご説明させていただく。</p> <p>山口部会長) 次期定期機体整備の受注企業の決定は本年秋頃と聞いているが、外国の企業が参入して競合の結果、外国の企業になるということも想定されるのか。</p> <p>深和部長) 入札状況については、防衛装備庁が担当しているものであり、責任を持った回答が出来ないが、可能性は否定できない。</p> <p>飯塚委員) ホバリング訓練は離れた場所でやっていただきたい。あと、9.5年というのが分からないが、また改めて説明していただきたい。</p> <p>深和部長) 航空機の運用に伴う騒音問題についてのご指摘に配慮した運用に努めてまいる。また、5年と9.5年の件は混在してしまうのかなと思うが、9.5年というのは米軍のオスプレイのメンテナンスを行う次の契約が最大9.5年ということであり、5年以内を目標とする陸自オスプレイの暫定配備期間とは、完全に別の話である。本日は、暫定配備期間を5年以内と目標する陸自オスプレイについてご説明させていただいている。</p> <p>飯塚委員) 5年後に説明があるのか。</p> <p>深和部長) 陸自オスプレイの暫定配備期間を5年と目標することは、市長と防衛大臣が約束しているため、万が一のことがあれば、当然ご説明させていただく。</p> <p>飯塚委員) 確実ではないのか。</p> <p>深和部長) 5年に関しては、現在佐賀空港整備の状況もあることから、確実性をもって言えないが、5年を目標とするということは最大限努力している。</p> <p>山口部会長) 市の考え方としては、暫定配備期間について、佐賀空港の施設整備の状況はあるが、市民の負担はあくまでも5年以内ということで、合意文書を取り交わしている。市民の負担はあくまでも5年以内という考えである。</p> <p>鳩飼委員) 陸自オスプレイ1機の離着陸訓練やホバリング訓練の時間は決まっているのか。</p> <p>横川1佐) 飛行訓練の内容によって異なるため一概には言えないが、場周経路を飛ぶ場合は平均してどれぐらいかということはあると思う。また、航空機の速度等によって変わってくるため、何分というのは申し上げられないが、場周経路を飛ぶ場合については速度によって時間は分かる。しかしながら、機能試験や試験飛行で洋上に出る場合については、着陸まで時間がかかるため、その試験が終わるまでが飛行にかかる時間になってくる。</p> <p>高橋委員) 佐賀空港に5年後、17機の陸自オスプレイが配備された場合、木更津駐屯地は陸自オスプレイが来る前の状態に戻るといいか。</p> <p>深和部長) 暫定配備であるため、本来の配備先である佐賀空港に行った後は木更津駐屯地からはなくなるということである。</p>
--	---

高橋委員) 米軍のオスプレイは木更津駐屯地で整備するのか。  
深和部長) そのとおりである。日米の共通整備基盤としての機能は引き続き、木更津駐屯地で行わせていただきたい。メンテナンスのために米軍のオスプレイがやって来るといことはご指摘のとおりである。

議題(2) 基地周辺地区からの要望書に対する市の対応状況について

**【説明】**

● 曾田企画課長説明

陸上自衛隊木更津駐屯地周辺の自治会(新宿、吾妻、中里1丁目、中里2丁目、江川、久津間、久津間住宅、畔戸)及び市内漁業協同組合(木更津、中里、江川、久津間、金田、牛込)に対し、木更津駐屯地周辺地域等振興交付金を交付するため、9月補正に42,000千円提案した。交付金の使途としては、自治会の活動費や漁業振興費に活用していただきたい。

**【その他】**

無し